

舞台裏が、僕らの表舞台

開演を知らせるブザーが鳴る。次第に照明が暗くなり、観客の歓声を誘うように幕が上がる。ステージ上に灯されるスポットライト、ホール内に響き渡る音。この舞台上のすべての演出に携わっているのが、舞台技術スタッフです。今回の特集では、市内の文化ホールで行われる舞台を運営する団体「一般社団法人ネクストゼロ」と運営の一端を担うボランティア団体「丹波市立文化ホールオペレータークラブ ZERO-IV」について紹介します。

問文化・スポーツ課（春日文化ホール内）☎ 74-1050

出演者と舞台スタッフで創り上げる 丹波市ならではの舞台運営

「アマチュアアーティスト育成支援事業」のバンド・ピアノ・ダンス・和太鼓4ジャンルのフェスタは、ネクストゼロだけでなく、ZERO-IVや各実行委員会などとともに実施・運営している事業です。ZERO-IV会員自らが舞台を演出しサポートができるよう、連携を図りながら進めています。

Introduction

一般社団法人ネクストゼロ



文化芸術活動や芸術鑑賞のニーズに応え、より高い専門性や技術力を発揮するため、令和5年6月、「一般社団法人ネクストゼロ」が設立され、令和6年4月から市のホール運営業務の委託を受けています。

令和2年2月に市が策定した「丹波市文化芸術推進基本計画」の基本方針や目標に沿った事業を展開し、市と当法人が協働し、市民参画の「丹波市ならでは」のホール運営や人材育成を行っています。

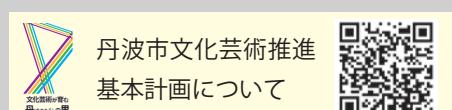
「これまで以上に質の高いサービスを」

私たちは培ってきた専門性や技術力を維持しながら、これまで以上に質の高いサービスを提供できるよう、ZERO-IVや利用団体とのコミュニケーションを密に図り、互いに知識や技術を共有しながら舞台運営に取り組んでいます。

また、ZERO-IV会員の知識の習得や技術力向上を目的に、研修の企画や運営をし、後継者の育成にも力を入れています。技術やノウハウの伝授だけでなく、舞台スタッフとしての基本的な知識や技術を習得してもらうなど、様々な内容を組み込んだ研修プログラムを実施しています。



開催の度に立ち見が出る人気イベントの和太鼓フェスタ



代表理事 長井誠さん

Introduction

丹波市立文化ホール オペレータークラブ ZERO-IV

STAFF
Zero-IV

市および一般社団法人ネクストゼロが主催するオペレーター育成講座を受講した市民を中心とした、10代から80代の45人の有志によって構成される文化ホールスタッフのボランティア団体です。平成22年に、市内のそれぞれのホールで活動していた4つの団体が統合し、現在の姿になりました。市立文化ホールで行われる事業や舞台芸術などの推進につながる事業・行事に対して積極的に協力し、ステージオペレーターおよびフロア活動を通じた地域文化芸術の発展を目的に活動しています。



「名前に込められた2つの数字」

イタリア語で「熱意・熱心」を意味する“ZERO”から「ZERO-IV」、4クラブ統合して設立したことを意味する「IV」という2つの数字が名前の由来です。私を含めメンバーのほとんどが、裏方の経験がない素人ですが、ベテランメンバーから多くのことを教えてもらっていました。舞台運営のサポートを通じて互いに切磋琢磨し、熱い気持ちを持って活動しています。



「演者とともに最高のステージ・舞台をつくる」

ホールを訪れ、幕が上がった舞台に目をやると、そこは華やかに彩られ、スポットライトを浴びた演者を見る事ができます。イベント後、記憶に残るのは舞台上での出来事で、私たち裏方の存在を意識する人はほとんどいません。ですが、皆さんの思い出に残った最高のステージや舞台の裏側には、私たちが居ます。演者とともに1つの作品をつくり上げる経験は、この活動の大きな魅力です。

また、裏方や演者さん同士のここでしかできない特別な交流もあり、現場は芸能関係で使用されるような専門用語が飛び交うなど、非日常の世界が広がり、はじめはビックリするかもしれません。ですが、ここにいるメンバーは皆ZEROから始まりました。皆さんもぜひ、舞台の裏側の世界に足を運び、私たちと一緒に最高のステージをつくりませんか。



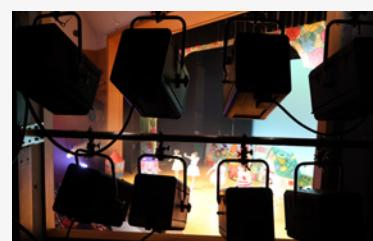
会長 吉良哲也さん

BACKSTAGETOUR

問 アマチュアアーティスト育成支援事業実行委員会事務局
(一般社団法人ネクストゼロ内) ☎ 85-3032

「アマチュアアーティスト育成支援事業」の4つのフェスタでは、普段見ることができない専門的な機材や舞台裏の動きを見学することができます。見学は講座受講の有無に関わらず可能です。詳しくは、市のホームページなどで随時お知らせします。

興味のある方は
ぜひ参加ください！



Section
01

照明スタッフ

舞台の照明は、演劇の雰囲気を大きく左右する要素の一つです。照明スタッフは、脚本や演出家の意図を理解し、シーンごとの明るさや色を調整します。特定の役者やアイテムを強調するためのスポットライトの操作は重要な役割です。



Section
02

音響スタッフ

効果音やBGMは、観客を物語の世界へと引き込む大切な要素です。音響スタッフは、それらの音を適切なタイミングで流すだけでなく、音の質やボリュームを調整する役割も担います。



Section
03

舞台スタッフ

幕の操作、大道具の設営・移動、舞台で演者への小道具渡しなどを行い、演者さんと最も近いところで作業を行います。大規模なコンサートがある場合には前日からセッティングに入ることもあります。



Section
04

フロアスタッフ

受付を担当したり、観客の座席案内や誘導など、ホール周り全般の作業を行います。このほか、舞台袖から開演前後や休憩のアナウンスなども行い、舞台進行が円滑に進む手伝いをします。



舞台袖からの景色。リハーサルでは演者の細かな息遣いまで聞こえることも

ステージ横に設置された照明から演者を投光。眩いスポットライトの先には裏方の活躍がある

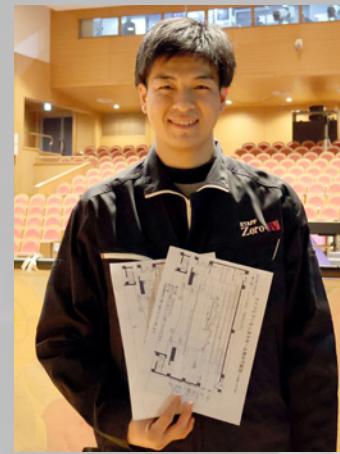
舞台裏天井からの景色。観客の知らない演者のストーリーを見ることができる

Pick Up
STAFF紹介

舞台スタッフ 真多昇喜郎さん

舞台経験 ZERO からのスタート

小学生の頃、所属していた金管バンドの演奏をライフピアいちじまでする機会がありましたが、舞台関係についての経験はまったくありませんでした。当時、ちょっとした演奏会にもたくさんのスタッフが関わりながら、それぞれに活躍している姿を見て、ホール関係の仕事に興味を持つようになりました。そんな中、昨年知り合いから ZERO-IV の存在を聞き、研修に参加し、活動歴は約 1 年になります。はじめは照明に興味がありましたが、研修で音響や舞台など多種多様な裏方の業務を学んでいくうちに、演者の方の近くで物品を動かす舞台スタッフの仕事に魅力を感じています。



開演前に舞台設営をする真多さん

舞台袖ならではの景色と表情

舞台スタッフは、幕の操作を行い、場面を転換する大事な役割を担います。舞台袖から見えるステージの臨場感や迫力を味わうことができる点は、この仕事の大きな魅力です。このほか、プロ・アマ問わず演者さんが舞台を前に緊張する表情を見るなど、舞台袖ならではの姿を見ることができ、貴重な経験になっています。

ZERO-IV のスタッフとしては舞台を担当していますが、最近では個人的にスマートフォンで動画編集作業もやっています。こうした経験を生かしながら、今後は照明や映像編集などにも挑戦していきたいですね。

Check It Out!

映像による多様な空間演出

近年、映像技術の進歩に伴い、イベントで映像を活用した演出が増えています。映像は様々な表現や技法によって魅力ある空間演出を作りだすことができます。アマチュアアーティスト育成支援事業として行われる 4 つのフェスタでは、企画や構成、編集など 1 から作り上げた映像を差し込むことで舞台を盛り上げる演出をしています。照明、音響、舞台、フロアの 4 部門だけではなく、映像演出を担当するスタッフはこれまで以上になくてはならない存在となっています。



右のモニターに映し出された映像を確認しながら演出操作をするスタッフ



舞台袖に設置されたモニターを見ながら進行を確認するスタッフ



円滑な進行のため、インカムを使用して各エリアと密に連絡をとる



操作室から照明の演出操作をするスタッフ